

DAIKIN

ダイキンVRVエアコン

取扱説明書

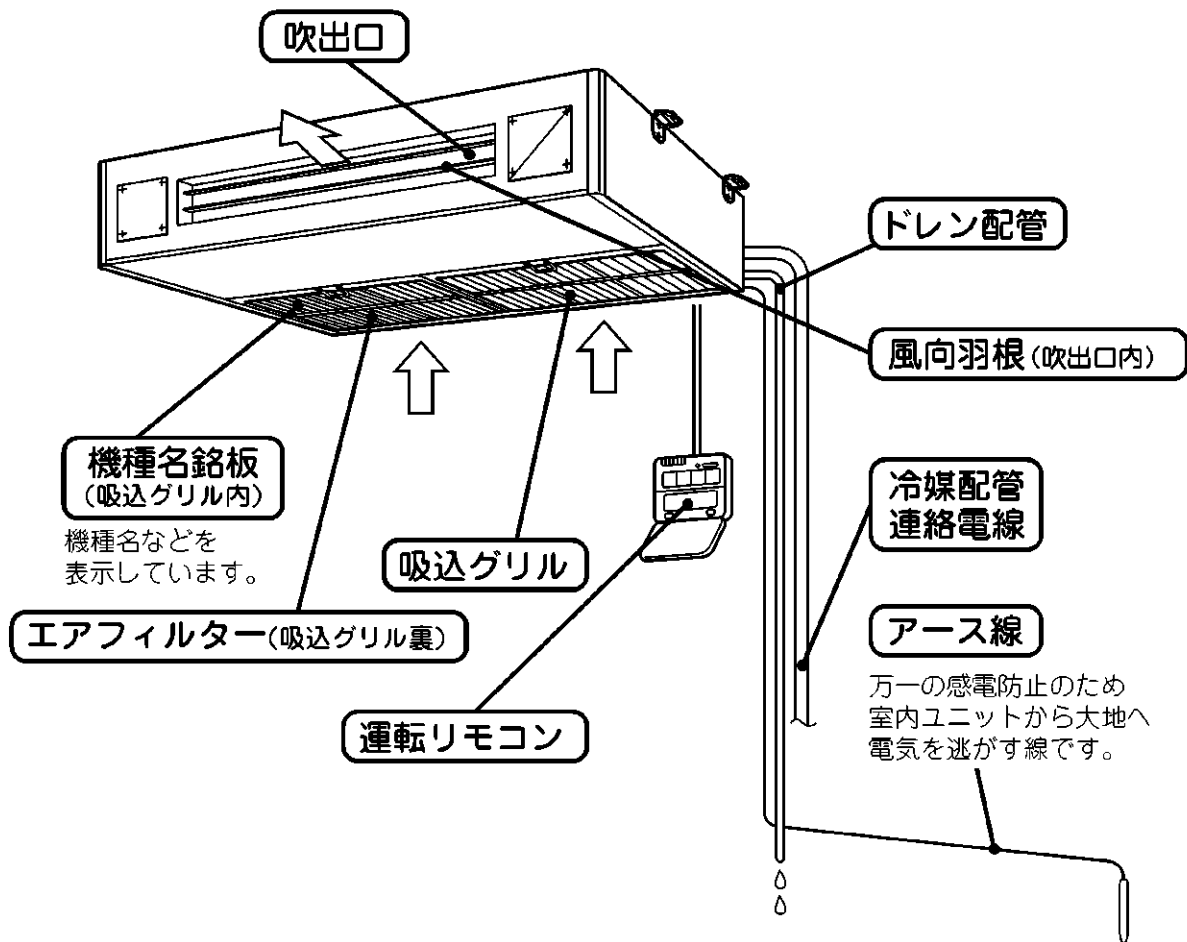
ビル用マルチ

FXYTP80・140M
FXYTP80・140MA

このたびはダイキンエアコンをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
この取扱説明書は室内ユニット専用ですので、室外ユニット付属の取扱説明書とあわせてご覧ください。
保証書はお買い上げの販売店からお受取りのうえ、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

上手に使って上手に節電

各部の名前と働き

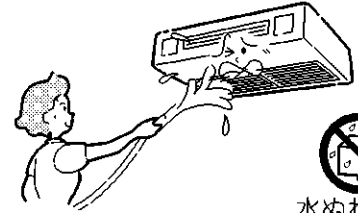


お手入れのしかた

⚠️ 注意

●掃除時は必ず運転を停止し電源を切る
感電やけがの原因になることがあります。

●エアコンを水洗いしない
感電や火災の原因になることがあります。



水ぬれ禁止

日常のお手入れ

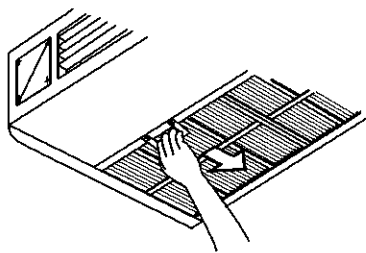
エアフィルターの交換のしかた

3ヵ月を目安に、フィルターを交換してください。

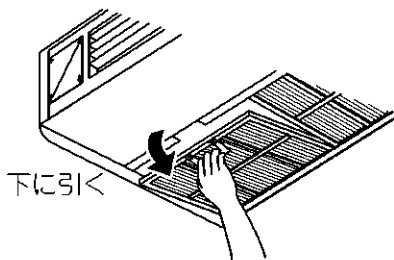
●交換時期は、厨房室の状況により、大きく異なりますが、およそ3ヵ月です。油滴が滴下する前に、あるいは、目づまりを起こす前に早目に交換されることをおすすめいたします。

1. 吸込グリルを外します。

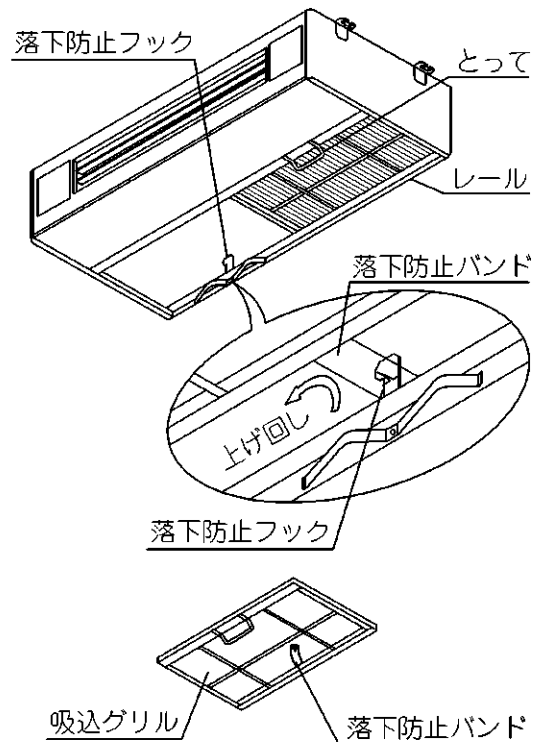
①吸込グリルのとってを持ち、少し背面側に押してください。



②そのまま下に引き、吸込グリルをレールから外してください。



③背面の落下防止バンドをフックから外して吸込グリルを降ろしてください。



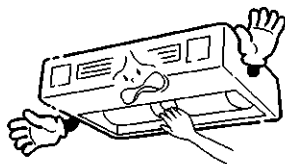
注意

吸込グリルを取り付ける際は、必ず落下防止バンドをフックにかけてからグリルをはめ込んでください。フックにかかっていないとグリルが落下しケガや故障の原因になることがあります。



●フィルター交換の際はモータ部に触れない

モータ部が熱くなっており、
やけどの原因になることがあります。



禁止

●足場に気をつける

高所作業となりますので注意してください。



お願い

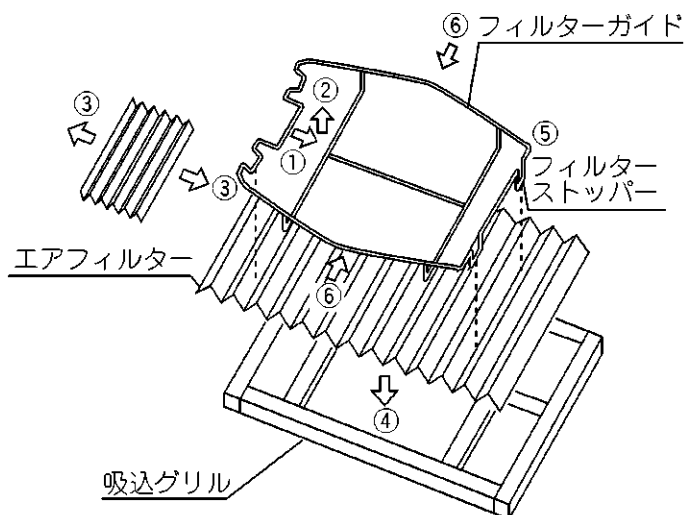
●清掃時以外は、エアフィルターを外さないでください。
故障の原因になることがあります。

2. フィルターを交換します。

- ① フィルターガイドを図のように引いてください。
- ② そのまま持ち上げ、フィルターガイドを外して、汚れたフィルターを捨ててください。
- ③ 新しいフィルターを両手で広げてください。
- ④ 吸込グリルに新しいフィルターをのせて、グリル内に押し込んでください。
- ⑤ フィルター2山程度の所に、フィルターガイドのフィルターストッパーを入れて吸込グリルに挿入してください。
- ⑥ フィルターガイドの両端のたわみ部分を、吸込グリル枠に入れてください。

3. 吸込グリルを取り付けます。

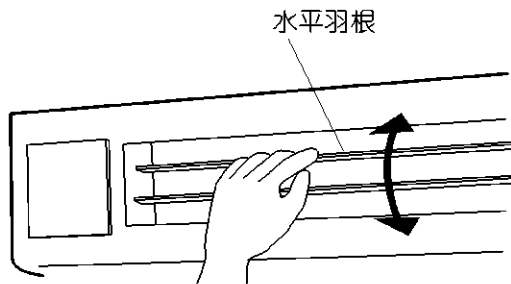
1の手順と逆の要領で、吸込グリルを取り付けてください。



風向調節のしかた

上下の風向調節

吹出口にある水平羽根で上下方向の調節ができます。



お願い

- 冷房運転時に下向きにしますと（約 20° 以上）、吹出口付近に露が付き、滴下することがあります。この場合、水平に吹き出るようにしてください。
- 冷温風が火気や調理台に直接あたり、調理に影響するようなときには風向をかえてください。

別売品について

エアコンの機能を幅広くご利用いただけるように、専用部品を用意しております。
ご入用の際にはダイキン純正品とご指定ください。詳しくはお買上げの販売店にお問合わせください。

警告

●別売品の取付けは、自分でしない

別売品は、必ず当社指定の製品を使用してください。
ご自分で取付けをされ不備があると、水もれ・感電・火災の原因になります。
お買上げの販売店にご依頼ください。



交換用エアフィルター …………… エアフィルターが汚れたとき、交換してください。

機種名	交換用エアフィルターキット
FXYP80形	KAFJ435A80
FXYP140形	KAFJ435A140

製品の種類と運転音

項目		機種	
		FXYP80形	FXYP140形
種類	機能	冷暖房兼用形	
	ユニット構成	分離形	
	送風方式	直接吹出形	
	冷房能力(kW)	8.0	14.0
	暖房能力(kW)	8.0(9.0)	14.0(16.0)
運転音 (dB)	室内ユニット	36	48

- (注) ●運転音はJIS B8616(日本工業規格)における数値です。
実際に据え付けた状態で測定すると周囲の騒音や反射を受け、表示値より大きくなるのが普通です。
●暖房能力の()は最大値を示します。
●この値は製品改良のため予告なく変更することがあります。

アフターサービスと保証について

アフターサービスについて

警告

●分解や改造・修理をしない

水もれ・感電・火災の原因になります。
お買上げの販売店にご依頼ください。



禁止

●移動・再設置は、自分でしない

据付けに不備があると、水もれ・感電・
火災の原因になります。
お買上げの販売店にご依頼ください。



禁止

●冷媒がもれたら火気厳禁

エアコンに使用されている冷媒は安全で、通常もれることはありませんが、万一、冷媒が室内にもれ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。燃焼器具などの火気を消して部屋の換気を行い、お買上げの販売店にご連絡ください。冷媒もれの修理の場合は、もれ箇所の修理が確実に行われたことをサービスマンに確認のうえ、運転してください。



禁止

フロンについて

- 1) 地球温暖化防止のため、この製品を廃棄・整備する場合には、フロン類を回収する必要があります。
- 2) 本機には以下に示す量のフロン類が使用されています。
P80形の場合：CO₂ 17.8トン相当
P140形の場合：CO₂ 31.1トン相当
- 3) 上記2)の数値は、本機が接続されている室外ユニットや接続室内ユニット台数、配管長などにより異なります。システム全体での数値は、室外ユニットに表示されています。



この表示はエアコンに温暖化ガス(フロン類)が封入されていることを、ご認識いただくための表示です。

■修理を依頼されるときは 次のことをお知らせください。

- 機種名
- 製造番号と据付年月日 } 保証書に記載してあります。
- 故障状況 — できるだけ詳しく
- ご住所・お名前・お電話番号

■無料修理保証期間経過後の修理について

お買上げの販売店またはタイキンコンタクトセンターにご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間について

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。
当社は、このエアコンの補修用性能部品を製造打ち切り後9年間保有しています。

■保守点検契約のおすすめ

エアコンを数シーズンご使用になると内部が汚れ、性能が低下することがあります。
分解や内部清掃には専門の技術が必要ですので、通常のお手入れとは別に保守点検契約(有料)をおすすめします。

■点検と保全周期の目安について

[保全周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。]

表1は次の使用条件が前提となります。

- ①ひんぱんな運転・停止のない、通常のご使用状態であること。
(機種により異なりますが、通常のご使用における運転・停止の回数は、6回/時間以下を目安としています。)
- ②製品の運転時間は、10時間/日、2500時間/年としています。
(氷蓄熱など夜間に運転するものはこれより長くなる場合があります。)

●表1. 「点検周期」および「保全周期」の一覧

主要部品名	点検周期	保全周期 [交換または修理]	主要部品名	点検周期	保全周期 [交換または修理]
圧縮機	1年	20,000時間	バルブ(電磁弁、四方弁など)	1年	20,000時間
電動機 (ファン、ルーバー、ドレンポンプ用など)		20,000時間	センサー (サーミスタ、圧力センサーなど)		5年
プリント基板類		25,000時間	ドレンパン※		8年
熱交換器		5年	リモコンおよびスイッチ類		25,000時間
膨張弁		20,000時間	ファン		室外:10年、室内:13年

- 注1. 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。
 注2. この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示しています。適切な保全設計（保守点検費用の予算化など）のためにお役立てください。
 また保守点検契約の契約内容によっては本表よりも、点検・保全周期が短い場合があります。
 注3. ビル管理法の対象となる建物にご使用の場合は、※印部品の定期的な点検が必要となります。
 注4. 「保全周期」および「交換周期」は、使用条件（運転時間が長い、発停ひん度が長いなど）や使用環境（高温、多湿など）がきびしくなると短縮する必要があります。
 詳しくは、お買上げの販売店またはダイキンコンタクトセンターにご相談ください。

●消耗部品の交換周期目安について

[交換周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。]

●表2. 「交換周期」の一覧

主要部品名	点検周期	交換周期
平滑コンデンサ	1年	10年
ヒューズ		10年
クランクケースヒーター		8年

- 注1. 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。
 注2. この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、交換行為が生じるまでの目安期間を示しています。適切な保全設計（部品交換費用の予算化など）のためにお役立てください。

詳しくは、お買上げの販売店またはダイキンコンタクトセンターにご相談ください。
 なお、当社が指定した業者以外による分解や内部清掃に起因する故障については、保証対象外となる場合がありますのでご注意ください。

●移設および廃棄などについて

- 転居などでエアコンを移動・再設置する場合は専門の技術が必要ですので、お買上げの販売店またはダイキンコンタクトセンターにご相談ください。
 この製品は「フロン回収・破壊法」に定める「第一種特定製品」です。
 - この製品を廃棄またはリサイクル（部品や材料の再利用）する場合には「フロン回収・破壊法」に基づく冷媒の回収・運搬・破壊・書面管理が義務付けられています。
 - この製品を移動・再設置する場合で、冷媒回収が必要なときは「フロン回収・破壊法」に基づく冷媒の回収・運搬・破壊が義務付けられています。
- いずれの場合も、お買上げの販売店またはダイキンコンタクトセンターにご相談ください。

●ご不明の場合は

アフターサービスについては、お買上げの販売店またはダイキンコンタクトセンターにお問合わせください。

保証書について

- この製品には保証書がついています。保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載事項をお確かめのうえ、エアコンを管理している方が大切に保管してください。
- 保証期間内に無料修理を依頼されるときは、販売店またはダイキンコンタクトセンターにご連絡のうえ、修理に際して「保証書」を必ずご提示ください。ご提示のない場合は、無料修理保証期間中であってもサービス料をいただくことがありますので、保証書は大切に保管してください。

保証期間…据付日から1年

詳しくは保証書をよくお読みください。

お客様ご相談窓口

商品に関する修理・消耗部品のご用命や取扱いのご相談などすべてのお問い合わせは下記の「ご購入店」へご連絡ください。

ご購入店名 _____ TEL _____ 据付年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

緊急時には下記コンタクトセンターへご連絡ください。
電話番号をよくお確かめのうえ、おかけ間違いのないようにお願いします。

コンタクトセンター (お客様総合窓口)

非通知設定の方は、最初に「136」をダイヤルしていただき、発信番号の通知をお願いしております。

 0120-88-1081 (全国共通フリーダイヤル)

FAXでのお問い合わせは 0120-07-0881 (FAX専用フリーダイヤル)

<http://www.daikincc.com> (ご相談対応ホームページ)

営業時間：24時間365日対応いたします。

対応業務：商品に関するすべてのご相談・お問い合わせをお受けいたします。

(修理、メンテナンス、取扱い、機種選定および別売品・消耗品・補用品の販売など)

1205

ダイキン工業株式会社

本社 大阪市北区中崎西二丁目4番12号 梅田センタービル
郵便番号 530-8323

東京支社 東京都港区港南二丁目18番1号 JR品川イーストビル
郵便番号 108-0075